

すべてはイエスのために

信徒代表 坂本規子

あけましておめでとうございます。

今年もどうぞよろしくお祈りします。

何もわからないままに、信徒代表という大役を引き受け、神様の聖霊の導き、また皆さんの祈りと励ましにより何とか今日まで続けられていることを感謝します。

人には、それぞれ神様からいただいた賜物がありますが、私に神様が下さっている賜物は、この役ではないと思いながら「私たちは完全ではないよ。完璧をもとめられていないよ。足りなくてもいいんだよ。」と言ってくださる神様に助けられ大過なく新しい年を迎えられました。

去年は信仰年ではじまり信仰年で終わった年でした。(終わりではなくこれから新生、派遣されていくといわれています。) 姫路地区で行われた地区大会の一つ一つのプログラムを通して、たくさんの恵みをいただいたことと思います。

神様が下さる恵みの中にはわたしたちにとって嬉しい恵みもあれば困難や試練もあります。

現代社会の中で生きている私たちにとってこの困難や試練を乗り切るためにこそ、さらに確かな信仰が必要なのではないでしょうか。

目まぐるしく変化する時代において、変わる事のない神様を信じ、ゆるぎない信仰を携えて出発していくことが信仰年で教えられたことではなかったでしょうか。

私は十年位前にインドのマザーテレサが設立した「死を待つ人々の家」でボランティアをしたことがあります。

世界中からボランティアが訪れ医療介助、食事の世話、洗濯など入所者よりボランティアのほうが多いのではないかとと思われるくらい混雑していました。

そんな中で、ふと柱の上のほうに書かれている言葉に気がつきました。

そこには「All for Jesus」と書かれていました。「すべてはイエス様のため」です。

ともすれば私たちは自分の満足のため、人に認められたいために奉仕することがあります。私はそれを見て、はっとさせられました。私たちの奉仕はイエス様のための奉仕だということを思い出しました。

その時から色々な奉仕の時にこの言葉を思いだすようにしています。私たちの一つ一つの働きがイエス様のためであることを思いながら今年も過ごしたいと思います。

一月からフィリピンの共同体代表が評議会に加わることになりました。私たちの教会は様々な国の人がミサに参加しています。神様の前で私たちは一つです。互いに助け合いながら共に信仰を深めていきたいと思います。

「疲れた者に力を与え 勢いを失っている者に大きな力を与えられる。

若者も倦み、疲れ、勇士もつまずきたおれようが 主に望みをおく人は新たな力を得 鷲のように翼を張って上る 走っても弱ることなく、歩いても疲れぬ。」 イザヤ 40・29～31

このみ言葉の主に望みをおきながら新しい年も神様の恵みが豊かにありますよう祈りながら、歩いていきたいと思います。